

【研究名】：アゾール系抗真菌薬ミコナゾール・ゲルとワーファリンとの相互作用の検討

【目的】

ワルファリンとミコナゾール・ゲルとの併用により、出血やPT-INR 値の延長が認められた症例が複数の医療機関で報告されています。両薬剤を併用する場合には重篤な副作用へ移行する危険性があり、担当医師への薬剤相互作用に関する情報提供や今後の副作用モニタリングがより重要になります。そこで、本研究ではワルファリンとミコナゾール・ゲルを併用している患者を抽出し、PT-INR 値やワーファリン投与量の推移などを調査し、院内におけるDI 情報の発信や薬剤管理指導時の副作用モニタリングツールの作成を目的にカルテ調査を行います。

【研究意義】

ワルファリンとミコナゾール・ゲルを併用している患者に対する薬剤管理指導時の副作用モニタリングツール作成への活用や院内におけるDI 情報の提供による薬剤適正使用への貢献が期待できる。

【研究内容】

ワルファリンとミコナゾールを併用している患者さんを対象に、年齢、体重、臨床検査値、薬歴などを調査します。

【研究期間】

2013 年 10 月～2014 年 9 月の 1 年間で予定しています。

【患者さんの個人情報の管理について】

厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを守るよう努めています。結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの不利益となることはありません。

【研究実施体制】

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

教授 荒木 博陽

講師 田中 亮裕

副薬剤部長 田中 守

副薬剤部長 井門 敬子

薬剤師 村上 聡

【研究結果】

ワルファリンとミコナゾール・ゲル両薬剤を併用する際には併用終了後もワルファリンの投与量を1/3-1/4 程度まで減量することを考慮し、少なくとも1 か月程度は頻回にPT-INR 値などの抗凝固能の測定

や出血の副作用モニタリングが必要不可欠である可能性が示唆されました。